

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 15 年第 2 回日本核医学会理事会

日 時：平成 15 年 5 月 11 日 (日)
12 時 15 分～16 時 00 分

場 所：一橋記念講堂 (学術総合センター内)

出 席：久保敦司会長，利波紀久理事長，伊藤健吾，大鈴文孝，尾川浩一，日下部きよ子，小西淳二，鈴木 豊，瀬戸 光，竹田寛，玉木長良，中川原謙二，中條政敬，榎林 勇，福田 寛，福永仁夫，前田稔，米倉義晴，各理事，今井嘉門第 3 回春季合同セミナー会長，本田憲業，吉田祥二，各監事，棚田修二オブザーバー，中村佳代子幹事長

議題

I. 審議事項

1. 平成 15 年評議員選挙結果報告・推薦評議員の推薦 (久保敦司会長)
2. 各賞について (玉木長良理事)
3. 第 5 回春季合同セミナー，第 11 回実践セミナーについて
4. 医学放射線物理連絡協議会について (本田憲業監事)
5. その他
 - (1) 総会，春季セミナーでの教育講演のあり方について
 - (2) 核医学会に関する広報の手段について
 - (3) 核医学会の各委員会，理事会などの ML の利用方法について

II. 報告事項

1. 第 43 回総会準備状況報告 (久保敦司会長)
2. 第 44 回総会準備状況報告 (西村恒彦次期会長)
3. 会計報告 (平成 15 年 2 月～平成 15 年 3 月) (久保敦司理事)
4. 第 3 回春季合同セミナー準備状況報告 (今井嘉門大会長)
第 4 回春季合同セミナー準備状況報告 (吉田祥二大会長)
5. 核医学実践セミナー (日下部きよ子理事)
第 9 回実践セミナー準備状況報告 (中條政敬理事)
第 10 回実践セミナー準備状況報告 (福永仁夫理事)
6. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (鈴木豊理事)
 - 2) 教育・認定医審査委員会 (玉木長良理事)
 - 3) 健保委員会 (久保敦司理事)
 - 4) 広報委員会 (尾川浩一理事)
 - 5) 法人化対応委員会 (日下部きよ子理事)
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
 - 7) リスクマネジメント委員会 (米倉義晴理事)
 - 8) 放射線防護委員会 (榎林勇理事)
 - 9) PET 核医学委員会 (福田寛理事)
 - 10) 放射性医薬品等適正使用評価委員会 (日下部きよ子理事)
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (久保敦司理事)

- 12) 選挙管理委員会 (久保敦司理事)
7. ワーキンググループ (福田寛理事)
8. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (中條政敬理事)
 - 2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原譲二理事)
 - 3) 日本心臓核医学会 (大鈴木孝理事)
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (瀬戸光理事)
9. 世界核医学会 (小西淳二理事)
10. 米国核医学会 (小西淳二理事)
11. アジアオセアニア核医学会 (鈴木豊理事)
12. 日中韓核医学会 (瀬戸光理事)
13. ARCCNM (棚田修二先生)
14. その他
 - ・第70回日本医学会定例評議員会 (福永仁夫理事)
 - ・第1回日本放射線学会放射線防護委員会 (竹田寛理事)
 - ・緊急時等の一斉連絡体制の整備状況について (日本アイソトープ協会)

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)
2. その他

議事概要

I. 審議事項

1. 平成15年評議員選挙結果報告・推薦評議員の推薦 (久保敦司選挙管理委員長 資料)

評議員選挙の開票が選挙管理委員長と選挙管理委員8名で自動読み取り機を用いて4月26日に行われた旨報告され(投票結果は資料参照)結果が承認された。引き続き推薦評議員について審議がなされ、以下の20名が評議員として推薦された。中田智明, 小林毅, 丸岡伸, 伊藤浩, 蓑島聡, 村上康二, 外山比南子, 間賀田泰寛, 定藤規弘, 藤林康久, 伊藤春海, 中嶋憲一, 塩見進, 梶谷定志, 杉村和朗, 柏木徹, 西谷弘, 笠木寛治, 小川洋二, 前田稔の各氏。

2. 各賞について (玉木長良理事 資料)

核医学若手奨励賞(仮称)の設定に関して審議され、設置は基本的に賛成であるが、条件(対象, 評価基準, 賞金など)については、これまでの各賞を考慮した具体案を玉木理事も含めた幹事会にて作成することとした。
3. 第5回春季合同セミナー, 第11回実践セミナーについて

第5回春季合同セミナーの会長の要望を募っており、次回の理事会で決定することとした。第11回実践セミナーは平成16年6,7月頃中部にて開催することを見据えて、伊藤健吾理事が担当することが決定した。
4. 医学放射線物理連絡協議会について (本田憲業監事 資料)

会員として出席することが要請され、これを決定した。2名の委員は榎林勇理事と本田監事が務めることとした。
5. その他
 - 1) 総会, 春季セミナーでの教育講演のあり方について

核医学専門医の生涯教育を扱う教育講演を春・秋に行い、その内容は教育委員会の責任において常時作って欲しい旨、久保理事より要請があった。これに伴い、PET研修セミナーは存続させたいことも確認された。ただし、春季合同セミナーの目的や名称(教育セミナー, 専門医研修セミナーなど)などについては、引き続き検討が必要とされた。
 - 2) 核医学会に関する広報の手段について

核医学の刊行回数が少なくなったことから、広報の手段を考えて欲しい旨、久保理事より要請があった。検討の結果、しばらくの間、折りこみ等の形でANMへ挟み込む手段をとることとした。

II. 報告事項

1. 第43回総会準備状況報告

(久保敦司会長 資料)

脳・心臓に関連したシンポジウム、PETが
ん検診のシンポジウム、包括医療に関するパ
ネル討論、核医学におけるリスクマネー
ジメントに関するパネル討論、また、フ
ィルムリーディング(心臓、脳、腫瘍など)
などを企画している旨報告された。

2. 会計報告(平成15年2月～平成15年3月)

(久保敦司理事 資料)

会費の徴収は4月、5月に集中するであ
らうこと、事業収入として楳林理事(第
42回核医学会総会会長)からの寄付
(300万円)があった旨報告された。

また、文部科学省からの援助(340万
円)が決定し、これにはANMがHP掲
載である要因が高く評価され、それ
に尾川理事が大きく貢献している旨、
鈴木理事より追加報告された。さら
に、英文の校正費用が値上がりしたた
め雑誌刊行費が増額したことが追加
報告された。

3. 第3回春季合同セミナー準備状況報告

(今井嘉門大会長)

初心者講習会への参加は183名、
PET研修に300名(内、認定医研修
セミナー70名)、学生、研修医が5
名、合計447名が登録した旨、報
告があった。

また、会費を3,000円、懇親会を無
料、会の初日の開始時刻を遠隔地か
らの参加者を考慮して午前10時と
したこと、コンベンションでなく、
教室のスタッフで運営したこと、テキ
ストを全面改訂したことなどがまと
めて報告された。

第4回春季合同セミナー準備状況報告

(吉田祥二大会長 資料)

初心者講習会やPET講習会は第3
回同様、準備すること；4月24日
午後から腫瘍・免疫核医学研究会を
計画していることなどが報告され
た。

4. 核医学実践セミナー

第9回実践セミナーは平成15年10
月4日

に開催の予定であることが中條理事
より報告された。また、第10回実
践セミナーの準備状況が福永理事
より報告された(資料 参照)。

5. 委員会報告

1) 編集委員会 (鈴木豊理事 資料)

ANMへReviewを書いていただけ
る人を推薦して欲しい旨、要請がな
された。また、核医学の投稿規定を
改訂して欲しい旨、意見が出され、
検討することとした。

2) 教育・認定医審査委員会

(玉木長良理事 資料)

4月12日に開催された委員会の報
告がなされた。さらに、専門医更新
の際の条件(習得単位を50から60
単位へ；総会、春季合同セミナーの
出席回数を最低2回とするなど)が
ほぼ認められ、他の条件もさらに検
討し、委員会にて明文化することと
した。試験問題の取扱に関しても、
再度委員会で諮るよう要請された。

3) 健保委員会 (久保敦司理事 資料)

FDG-PETの適応疾患の拡大(食道
がん、婦人科がん、アルツハイマ
ー)と内用療法とを保険申請する予
定であることが報告された。

4) 広報委員会 (尾川浩一理事 資料)

資料をもとに活動が報告された。ま
た、HPへの海外からのアクセス状
況(統計)が調査され、平成14年7
月頃からアクセス件数が増したと
報告された。

5) 法人化対応委員会 (日下部きよ子理事)

見なおしを行っている、関係省庁
から応えがあり、結果待ちの状態
であることが報告された。なお、
専門医制度に関して、医師の占め
る割合などの諸問題は引き続き検
討していくこととした。

6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)

日本専門医認定制機構第1回総会
が6月11日に行われる予定であ
ることが報告された。

- 7) リスクマネジメント委員会
(米倉義晴理事 資料)
核医学診療事故防止指針(資料)が示され、さらに現場からの意見を吸い上げて最終的に核医学掲載する旨、報告された。この現場の意見、および指針の基本に関しての意見を出してもらおうよう要請された。
- 8) 放射線防護委員会 (榎林勇理事)
特に報告事項なし。
- 9) PET 核医学委員会
(福田寛理事 資料)
臨床 PET 推進会議のメンバーが紹介され、平成 15 年 4 月 11 日に開催された第 1 回理事会の概要が報告された。また、PET 施設の審査をどこが行うかに関しては、委員会で検討するよう要請された。
- 10) 放射性医薬品等適正使用評価委員会
(日下部きよ子理事)
平成 15 年 3 月末で終了したので、各小委員会での項目をまとめて冊子を作る手配をしており、最終的には核医学へ掲載する予定であると報告された。
- 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会
(久保敦司理事)
6 月 10 日に委員会を開催して、最終案を厚生労働省へ提出する予定であることが報告された。
- 12) 選挙管理委員会 (久保敦司理事)
審議事項参照。
6. ワーキンググループ (福田寛理事)
第 42 回核医学会総会にてまとめ報告がなされたので、出来上がりを核医学に掲載する予定であること；WG の選択基準および諸手続き等に関してマニュアルを作る予定であることなどが報告された。
7. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会
(中條政敬理事)
第 35 回研究会は平成 15 年 7 月 5 日に旭川市にて油野民雄会長のもとに、第 36 回研究会は平成 16 年 5 月 24 日に大阪にて榎林勇会長のもと開催予定であることが報告された。
- 2) 日本脳神経核医学研究会
(中川原譲二理事)
平成 15 年 5 月 10 日に運営委員会が開催されたこと、現在の会員数は 176 名であること、HP を介してデータ解析などを供給していること、平成 15 年 10 月 29 日に開催の予定であることなどが報告された。
- 3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
第 10 回日本心臓核医学会は平成 15 年 10 月 29 日に玉木長良会長のもとに開催され、最近 5 年間の総括やアメリカとヨーロッパの状況報告などが準備されている旨報告された。
- 4) 呼吸器核医学研究会
(瀬戸光理事 資料)
第 8 回研究会が平成 15 年 4 月 26 日に東京にて森豊会長のもとに行われたこと、第 9 回研究会は平成 15 年 10 月 29 日に東京にて(第 43 回日本核医学会総会終了後)井上登美夫会長のもと開催予定であることが報告された。
8. 世界核医学会 (小西淳二理事)
Lee 会長とのミーティングの結果：International Coordinating Committee に利波理事長、世界核医学会組織委員会の Vice-chairman に小西理事、International Scientific Committee の Chairman に佐々木康人氏を、委員に西村恒彦氏をそれぞれ推薦したこと、中国または日本で Pre- または Post-congress meeting を検討願いたいとの依頼があったことなどが報告された。
9. 米国核医学会 (小西淳二理事)
平成 15 年 6 月 24 日に SNM-Annual Meeting にて SNM との定期会合を持つ予定であることが報告された。また、SNM-Annual Meeting では日本核医学会用にブースが用意されているので、ここで昨年と同様、ANM と日本核医学会の HP の広報をするべく準備中であることが中

村幹事長より報告された。

10. アジアオセアニア核医学会 (鈴木豊理事)
特に報告事項なし。
11. 日中韓核医学会 (瀬戸光理事)
平成 16 年 5 月 13, 14 日に開催の予定であること、中国参加は SARS の問題で現在ペンディングであることなどが報告された。
12. ARCCNM (棚田修二先生 資料)
平成 15 年 2 月 6 日よりバングラデッシュで開催された会議について報告があり、棚田氏の Organizing-Committee のメンバー就任が決まった。
13. その他
 - ・第 70 回日本医学会定例評議員会 (福永仁夫理事 資料)
平成 15 年 2 月 25 日に開催された評議員会での検討事項が報告された。
 - ・第 1 回日本放射線学会放射線防護委員会 (竹田寛理事 資料)
平成 15 年 4 月 11 日に開催された防護委員会の概要が報告された。
 - ・緊急時等の一斉連絡体制の整備状況について (日本アイソトープ協会 資料)
資料をもとに報告された。

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)(資料)が了承された。
2. その他
PET/CT に関する取扱いに関して、現在『重ね合わせ画像』としての処理が進んでおり、薬事の点で審査中であることが日下部理事より報告された。また、安全性については学会からの積極的支援が必要であると要請された。
3. 次回は平成 15 年 9 月 25 日(木曜日)に開催予定。

§ 平成 15 年第 3 回日本核医学会理事会

- 日 時：平成 15 年 9 月 25 日(木)
12 時 00 分～16 時 00 分
- 場 所：ルビーホール 桐・桂の間
- 出 席：久保敦司会長，利波紀久理事長，伊藤健吾，大鈴文孝，尾川浩一，日下部きよ子，小西淳二，竹田 寛，玉木長良，中川原譲二，中條政敬，榎林 勇，福田 寛，福永仁夫，前田 稔，米倉義晴，各理事，西村恒彦次期会長，吉田祥二監事，中村佳代子幹事長
- 欠 席：鈴木 豊，瀬戸 光，各理事，本田憲業監事，棚田修二オブザーバー

議題

I. 審議事項

1. 平成 15 年監事選挙結果について (久保敦司会長)
2. 第 5 回春季合同セミナー大会について
3. 名誉会員，功労会員の推薦について (日下部きよ子理事)
4. 平成 15 年度暫定予算案 (久保敦司理事)
5. 平成 15 年度ワーキンググループについて (福田寛理事)
6. PET-CT 要望書について (福田寛理事)
7. 「放射性医薬品を投与された患者のオムツ等の取り扱いについて」のガイドラインおよびマニュアルの改定案 (福田寛理事)
8. その他
 - ・日本核医学会各賞について (中條政敬理事)

II. 報告事項

1. 第 43 回総会準備状況報告 (久保敦司会長)
2. 第 44 回総会準備状況報告 (西村恒彦次期会長)
3. 会計報告(平成 15 年 4 月～平成 15 年 8 月) (久保敦司理事)
4. 第 3 回春季合同セミナー状況報告

- 第4回春季合同セミナー準備状況報告
(吉田祥二大会長)
5. 核医学実践セミナー
第9回実践セミナー準備状況報告
(中條政敬理事)
第10回実践セミナー準備状況報告
(福永仁夫理事)
第11回実践セミナー準備状況報告
(伊藤健吾理事)
6. 委員会報告
- 1) 編集委員会 (伊藤健吾理事)
 - 2) 教育・認定医審査委員会
(玉木長良理事)
 - 3) 健保委員会 (久保敦司理事)
 - 4) 広報委員会 (尾川浩一理事)
 - 5) 法人化対応委員会
(日下部きよ子理事)
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
 - 7) リスクマネジメント委員会
(米倉義晴理事)
 - 8) 放射線防護委員会 (榎林勇理事)
 - 9) PET核医学委員会 (福田寛理事)
 - 10) 放射性医薬品等適正使用評価委員会
(日下部きよ子理事)
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会
(久保敦司理事)
 - 12) 選挙管理委員会 (久保敦司理事)
7. ワーキンググループ (福田寛理事)
8. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (中條政敬理事)
 - 2) 日本脳神経核医学研究会
(中川原謙二理事)
 - 3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (榎林勇理事)
9. 世界核医学会 (玉木長良理事)
10. 米国核医学会 (小西淳二理事)
11. アジアオセアニア核医学会
12. 日韓中核医学会 (利波紀久理事長)
13. ARCCNM

14. その他
- ・日本専門医認定機構第1回総会について
⑲ (福永仁夫理事)
 - ・厚生労働省への要望書について
⑳ (日下部きよ子理事)

III. 確認事項

1. 前回議事録(案) ㉓
2. 第5回日本核医学会奨励賞について
㉔ (中條政敬理事)
3. 第18回核医学論文賞, 第8回 ANM 論文賞
について (伊藤健吾理事)
4. その他

議事概要

I. 審議事項

1. 平成15年監事選挙結果について
(久保敦司会長)
監事選挙の開票が選挙管理委員長と選挙管理委員の森豊幹事, 中村住代子幹事長, 吉田祥二監事の3名, および, 日下部きよ子理事の立会いのもとで, 9月25日11時より行われたこと, 投票者100名, 内有効者99名, 有効票198票で上位2名が日下部きよ子氏と中條政敬氏であったことが報告され, 両氏が新監事として承認された.
2. 第5回春季合同セミナー大会について
東海地方での開催を鑑み, 竹田寛理事と伊藤健吾理事の双方で話し合っ決めて, 次期のセミナーでは春季合同セミナーの役割をより明確にすること, 名称に[教育]の語句を入れることなどが提唱され, 詳細な検討は次期の理事会への繰越し事項とした.
3. 名誉会員, 功労会員の推薦について
(資料 日下部きよ子理事)
資料 に基づいて, 田邊正忠氏, 飯沼武氏, 北方勇輔氏, 福地稔氏, 石橋晃氏, 高橋恒男氏の6名が名誉会員として推薦された. また, 赫彰郎氏, 金尾啓右氏, 奥山武雄氏, 金子昌生氏, 高山茂氏, 篠原照彦氏, 山本昭氏の7

名が功労会員として推薦された。

4. 平成 15 年度暫定予算案

(資料 久保敦司理事)

資料 にそって先に平成 14 年度の決算報告がなされ (II-3)、これにならって平成 15 年度の予算を組んだことが報告され、承認された。

5. 平成 15 年度ワーキンググループについて

(資料 福田寛理事)

継続を含めて 5 つの課題が申請されていることが報告された。個々の申請課題に関して説明がなされ、検討の後、5 題すべてが承認された。

6. PET-CT 要望書について

(資料 福田寛理事)

臨床 PET 推進会議と日本核医学会 PET 核医学委員会とから要望書はすでに出されているが、日本核医学会としてさらに要望書が必要かが検討された。状況は上向きであること、厚生労働省の薬事認可は通り、保険適用に関してはペンディングであることなどが日下部理事より報告され、しばらく様子を見ることとした。

7. 「放射性医薬品を投与された患者のオムツ等の取り扱いについて」のガイドラインおよびマニュアルの改定案について

(資料 福田寛理事)

本改定案に関してそれぞれの学会で承認を得たいとの意見が出ていることが報告された。小西理事や日下部理事担当のこれまでのアンケートやその結果からみても、学会としても本課題に真剣に取り組んでいるとの姿勢が評価されていることが日下部理事より追加報告された。

用語の使用などを注意して、各意見を福田理事へ連絡するよう提唱された。

8. その他

- ・日本核医学会各賞について

(資料 中條政敬理事)

現存の賞に関して説明がなされ、今回賞全体が見直しの時期にあることを考え、その検討を次期理事会の繰越事項とした。

II. 報告事項

1. 第 43 回総会準備状況報告

(追加資料 久保敦司会長)

追加資料に基づいて、状況が報告された。

2. 第 44 回総会準備状況報告

(資料 + パンフレット 西村恒彦次期会長)

資料に基づいて説明がなされた。さらに、総会前日の平成 16 年 11 月 3 日に理事会開催の予定、また、市民公開講座としては[がん検診]を取り上げたいことなどが報告された。

3. 会計報告 (平成 15 年 4 月 ~ 平成 15 年 8 月)

(資料 久保敦司理事)

資料に基づいて説明がなされた。本会計は吉田、本田両監事の監査を受けたことが報告された。

4. 第 3 回春季合同セミナー状況報告 (資料)

資料に基づいて、第 3 回春季合同セミナー会長の今井嘉門氏からの報告が利波理事長によって代弁された。

さらに、引き続いて第 4 回春季合同セミナーの準備状況報告が資料 に基づいて吉田祥二大会長より報告された。

5. 核医学実践セミナー

第 9 回実践セミナー準備状況が資料 に基づいて担当の中條政敬理事より報告された。

また、第 10 回実践セミナー準備状況として、平成 16 年 3 月 13 日 (土) に岡山大にて開催の予定であることが福永仁夫理事より報告された。

さらに、第 11 回実践セミナーは平成 16 年 7 月 3 日、または 10 日に愛知県医師会館にて開催予定であることが伊藤健吾理事より報告された。

第 12 回実践セミナーの担当を募っていることが利波理事長より提唱された。

6. 委員会報告

1) 編集委員会 (資料 伊藤健吾理事)

資料にそって説明がなされた。

核医学の総会の抄録号取り扱い、査読者に対しての FEED-BACK、論文賞の見なお

し、編集委員の増員など編集委員会の意向を新理事会へ申し送ることとした。

2) 教育・認定医審査委員会

(資料 玉木長良理事)

今回より教育・専門医審査委員会に名称を変更することとした。

資料に基づいて説明がなされ、特に専門医試験の形式については概ね[第2案](各論を3つの分野に分けてあらかじめ一つ選択する方式)を支持するが、さらに委員会で検討するよう提唱された。なお、研修医の年数をカウントするか否かについては、今後の様子を見守ることとした。

3) 健保委員会 (資料 久保敦司理事)

普及性、有効性、効率性などの項目で書くように指示され、それに応じて要望書を記載したこと、RI内用療法を優先順位の1位としたことなどが報告された。さらに、[内保連として放射線関係をリストアップしたもの]が追加資料として提示された。

4) 広報委員会 (資料 尾川浩一理事)

核医学データベースを文部科学省の研究費として申請したい旨が提唱され、資料：計画調書(案)が提示された。提出期限や金額について検討後、申請することが許可された。

5) 法人化対応委員会

(資料 日下部きよ子理事)

資料にそって現状が説明された。課税の点が不明瞭であるため、今後も従来どおりの[法人]化を希望するか、あるいは[中間法人]と変更するかの問題はしばらく様子を見ることとした。

6) 標榜科推進委員会

(資料 ② 玉木長良理事)

日本専門医認定制機構第1回総会に関する報告が出席した福永理事よりなされ、区分(案)で核医学会はIIC(Subspecialityの学会の中で多領域に横断的に関連する学会)であることの提案があり、学会として承認す

る旨を申し送ることとした。

また、年会費として20万円収めること、チェックリストを玉木理事が担当して提出することなどが決定された。

7) リスクマネジメント委員会

(資料 米倉義晴理事)

資料に基づいて説明がなされ、主な注意点が言及された。

次回の理事会までに再度意見を募り、最終的に《核医学》誌に掲載することとの了解を得た。

8) 放射線防護委員会 (榎林勇理事)

特に報告事項なし。

9) PET核医学委員会

(資料 福田寛理事)

委員会の責務と今後の課題、さらに、PET担当医師の認証について説明がなされ、それぞれを次期理事会への繰越課題とした。

10) 放射性医薬品等適正使用評価委員会

(日下部きよ子理事)

厚生労働省から学会への委託研究課題に関しての報告書が提出されたこと、学会員へ広報される予定であることなどが報告された。

11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (久保敦司理事)

委員会は平成15年9月18日に開催され、基盤となっているFDAのガイドラインが手直しの段階にあるので、その変更部分を加えた上、次回の理事会にて報告予定であると説明された。

12) 選挙管理委員会 (久保敦司理事)

監事選挙に関して上記、I-1のごとく報告された。

7. ワーキンググループ (福田寛理事)

平成15年度のWGに関しては第43回日本核医学会総会にて報告されることが説明された。また、16年度の申請状況に関しては上記I-5のごとく報告された。

8. 分科会活動

1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (中條政敬理事)
平成 16 年 4 月に春季合同セミナーの最終日に榎林会長のもとで開催される旨が報告された。

2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原譲二理事)
第 43 回日本核医学会総会の最終日に開催が予定されていること、脳循環代謝学会で共催セミナーを引き続き開催することなどが報告された。

3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
10 月 29 日に玉木会長のもとで開催されることが報告された。

また、今後の会のあり方が将来構想委員会をもとに検討され、一般演題などの取り扱いなどが変更される可能性のあることが西村恒彦氏より追加報告された。

4) 呼吸器核医学研究会 (榎林勇理事)
第 43 回日本核医学会総会の最終日に開催が予定されていること、次々回の開催は佐藤功氏 (香川医科大学放射線科) 会長のもとで開催予定であることなどが報告された。

9. 世界核医学会 (資料 玉木長良理事)
SNM の期間中に行われた第 1 回 International-Coordinating-Committee-Meeting の状況が報告された。

10. 米国核医学会 (小西淳二理事)
SNM の期間中に行われた SNM-JSNM 合同会議の状況が出席した中村幹事長より追加資料に基づいて報告された。次回の SNM-JSNM 合同会議は第 43 回日本核医学会総会開催中の 10 月 28 日に行われる予定であること、次回の

SNM-Meeting での JSNM-SNM 合同教育セッションの項目を決定しておくことなどが了解された。

11. 日韓中核医学会 (利波紀久理事長)
平成 16 年 5 月 13, 14 日に開催予定であることが報告された。

12. ARCCNM (資料)
資料が、当該 ARCCNM 第 1 回組織委員会出席のため欠席の棚田氏に代わって利波理事長より読み上げられた。

13. その他
・厚生労働省への要望書について (資料 ② 日下部きよ子理事)
資料に基づいて説明がなされた。

¹¹¹In ペンテトレオチド注射液の輸入承認審査を早くして欲しい要望書を日本核医学会と日本医学放射線学会の連名で提出したい旨、申請があり了解された。

III. 確認事項

1. 前回議事録 (案) (資料 ③)
すでに、持ち回り理事会にて承認済み。

2. 第 5 回日本核医学会奨励賞について (資料 ④ 中條政敬理事)
すでに、持ち回り理事会にて今回は該当者なしとして承認済み。

3. 第 18 回核医学論文賞, 第 8 回 ANM 論文賞について (資料 伊藤健吾理事)
すでに、持ち回り理事会にて承認済み。

4. その他
次回理事会は 10 月 26 日 (日) 12 : 30 ~ 15 : 30 に京王プラザホテル南館 4 階「みずき」にて開催の予定。